

## 第7回大学入試のあり方に関する検討会議 意見発表

山口県立岩国高等学校3年 幸田飛美花  
(日本若者協議会会員)

～個人としての意見～

### 1. 共通テストで英語4技能を評価すべきか

◎評価すべきでない

⇒各大学の二次試験で国際化に伴いより必要とされるリスニング力とスピーキング力を重視すればいいと思う。そもそも共通テストの段階でどうしても4技能を評価する必要があるのかわからない。

### 2. 民間英語資格・検定の活用の在り方

⇒活用すべきだとは思いますが加点形式なのか換算方式なのかもしくは、受験資格なのか等時間をかけてでも詳細をはっきりさせてから導入すべきと思う。

▷経済的・地理的事情

受験費用はともかく、受験会場を地方にも設置してほしい。  
もしくは、模試同様、学校で実施してほしい。

### 3. 教師の質の差

⇒公開授業や生徒から評判の高い先生の授業公開を行ってほしい。

### 4. 個人的な意見

⇒大学入試改革より先に、授業改革、教育そのものを改革する必要があるのではないか。

## 1. 英語4技能評価

- 共通テストで英語4技能を評価すべきか否か  
-賛成派より反対派の方が圧倒的に多い

### ◎賛成

- ・ 評価すべきではあるが、共通テストの枠では難しいと思う。  
⇒ 全国公平に学力を図ることができるのはマークだけだから、共通テストでは Reading と Listening まで。  
・ 各大学で二次試験という形で Writing や Speaking、または民間試験そのものを採用してもよいのでは。
- ・ ネットもグローバル化もどんどん進んでいるから、これから日常の中で英語を使う機会が増えるはず。だから、早い段階で自分の4技能を測ることができるのは良いことだし、それを参考に二次試験にも活用できるのは大きいと思う。
- ・ 4技能を評価すべきだと思うが、英語を勉強してテストで点が取れるだけでなく、社会に出て自分の能力の1つとして使えるような英語にするのが本来の勉強と思うため、その点で4技能は評価すべきと思う。

### ◎反対

- ・ 受験回数への不安  
⇒ 英検の開催日が毎回部活の大事な試合日と重なり、ほとんど受けることができなかつたため、不利な気がして入試改革で英検の結果を利用するようになるという聞いて不快な気持ちになってしまっていた。

- ・これまで学校で毎年夏休みに開催されていた GTEC しか受けたことがなかったため、英検など他の民間試験にも挑戦している人が周りにたくさんいて、自分は不利なのではと心配になる。
- ・国際化に対応するためなら、授業から変えるべきだと思う。具体的には高校の卒業要件とか英語のテストの条件を厳しくすること。
- ・入試で4技能を測るのではなく、学校の中で測ってほしい。

## 2. 民間英語資格・検定の活用の在り方

### ◎活用すべき

- ・グローバル化に伴い、4技能がよりもとめられるようになってきていると思うので4技能のレベルを上げることができるチャンスでもあるととらえることもできる。
- ・受験勉強に加えて勉強しているものなので評価してほしい。結果より過程を認められている風を感じる。
- ・大学入試において採点者側も受験者が受験資格を利用することで、少なからず負担が減るのでは。

### ◎活用すべきだが...

- ・検定の日がだいたい試合と被るため、時期を検討してほしい。
- ・制度がまだ曖昧であるにも関わらずいきなり導入したことで受験生を混乱させてしまったと思うのでまず制度を確立させるべきであると思う。

## 3. 経済的・地理的事情

- ・S-CBT等英検を受ける機会を増やしてくれたことは有り難いが、

地方の会場を増やしてほしい。

- ・模試同様、学校で英検など開催してほしい。そうすれば、普段通り学校へ行くのと同じだから会場までの移動費など気にならない。
- ・経済的な面で厳しい人には政府がお金を補償すべき。
- ・検定を受けるにしても共通テストを受けるにしても金銭的な面で援助する制度があってもいいと思う。

#### 4.先生の質の地域差

- ・学校の中でも授業のわかりやすさの差が激しい
- ・塾の教師は都会(人が多いところ)に質の高い人が集まっている気がする
- ・先生の授業を他校の先生方なども見に来られる公開授業を色々な年代の先生方により多く実施してもらいたい
- ・每学期終わりに各教科の授業で授業アンケートが実施されるが先生の授業の進め方に対して不満や疑問を持っていても実際アンケートに書きづらいこともあるため、公開授業など先生が他の先生に実際に授業を見てもらい、アドバイスをもらう機会を増やした方がいいと思う。
- ・差があるのは仕方がないと思うが、質の高い先生のオンライン授業の配信を学校の授業として取り入れるなどすれば改善できると思う。

#### ◎その他

- ・共通テストや英検で高校生が評価される前にもっと教師を採用する時点で厳しく指導や評価してほしい。
- ・リスニングで配点増やしたり新しくスピーキングを生徒が受け

る制度を作ったりする前に、教師の技能を先に育成してほしい（同じ英語担当教員でもスピーキング力や教え方がまずことなるため、生徒側が不安になる）。

- ・教師の質の差がある曖昧なまま大学入試改革をして曖昧な教育を受けた人が増えるよりも教師な質の差等格差をなくしてから導入してほしい。
- ・そもそもなぜセンター試験ではだめなのかわからない。

## ○記述式について

-賛成派より反対派の方が圧倒的に多い

### ◎賛成

- ・マーク式よりもその人の能力や理解度がわかりやすく表示され、より平等に評価されると思う。
- ・国語の記述式に関しては記述力は必要だと思うから賛成。
- ・賛成だがよりそのスキル（語学等）が専門的に必要とされる学校・学部のみで記述式を導入してほしい。
- ・マーク式だと、運で正解って可能性も出てくるし、それで合格しても実力ではないと思う。
- ・記述式だとその受験者本人の直接の意見がわかるから取り入れるべきとは思いますが、採点基準が採点者によって不平等が生じることが難点。そこが解決できてから導入すべきである。

### ◎反対

- ・記述式は採点者側も自己採点をする受験者側も公正な採点ができるかどうか明確ではなく不安しかない。
- ・採点基準に不安があるから、記述でみる力が必要な科目だけ二次試験で見ればよいと思う。

- ・特に国語の記述問題で採点の判断基準などが難しいため、採点するのに時間も人も多く必要とする。
- ・自己採点が難しい、採点者によって答えに差が出るのでは。
- ・採点基準の判断に差が出かねないし、絶対記述式でないといけないとは感じない。
- ・今までのセンター試験で理解できているかどうかを判断できると考えられるから。
- ・共通テスト(記述あり)の模試を受けたときに穴埋め問題との違いがあまりかんじられなかったから。
- ・採点者によって合否が左右される可能性がある。
- ・何よりも自己採点がしづらいのが困る。
- ・個人的に記述に時間をかけるのではなく色々な選択肢の中から正しいものを考えて選ぶ方がいいと思う。
- ・採点の一部を民間企業に託すという話が出てきたとき、大学入試は自分の将来が一点刻みで決まるのに採点者によって点数が変わったり、自分を信じて自己採点丸を付けたりすることができるのかとても不安に感じた。
- ・第1回試行調査であったような数学の問題文が長すぎて時間足りないとか記述の正答率の低さとか第2回の時に多少改善されていたらしいがもともと課題が多すぎるのにもかかわらず導入するのは当事者である受験生が1番の被害者になり兼ねない。
- ・共通テストにおいては、採点が公平でミスも起こりにくいマーク式をする方がいい。記述は採点者によって採点基準がばらつく可能性があると思う。
- ・記述は各大学での2次試験等に任せるべき。現在のままでいい。

## ○大学入試改革が高校教育に与えている影響

⇒入試改革で授業が変わった思う

### — 国語 —

- ・授業で共通テストを意識した解説がされるようになった
- ・古典でも現代文でも二つの文章を比較して解く問題が増えた
- ・情報量が多い入試対策として速読力、スキミング力が意識されるようになった(これらの力は将来役に立ちそう)

### — 英語 —

- ・リスニングに割かれる時間が増えた
- ・テストでリスニング問題の数が増えた
- ・英文法・発音アクセントの問題が共通テストでは単独問題がないため、英文法の問題集が配られた時期が遅かった(私大には変わらず出るはずなので例年通りの時期に配るべきだったと思う)
- ・課題でもリスニング問題が出されるようになった

### — 数学 —

- ・テストに共通テストを意識した会話文の問題がでてくるようになった
- ・ワークにも共通テストで出るような形式の問題があった

### — 社会 —

- ・テストで共通テストのような資料を比べて答えを出す問題が出るようになった
- ・社会のテストなのに国語の読解力を求められている気がした

## — 全体 —

- ・全体的にテストや課題などで記述式の問題が増えた
- ・様々な教科で文章やデータを読み解く問題が増えて色々なことに対して応用力がつきそう
- ・授業でデータを見比べることが増えた
- ・授業はどうしても「入試のための授業」になるから、入試にいい変化があると授業も良くなる！
- ・会話文形式の対応として、客観性が意識された授業になったと思う

→ex.)「他のクラスでは～という意見もありました」

- ・日常でも客観的見方を意識する人が増えた気がする
- ・宿題でも共通テスト対応のものが増えた

## ○その他学校生活に関すること

- ・学校の方針にもよるものだと思うが、入試改革の初年度だからといって教師が過度に心配しているようで共通テスト対策に関する宿題が増え、自分のやりたい勉強をする時間が削られる
- ・共通テストのことを話している先生たちの不安や焦りが生徒側にも伝わってきてストレスに感じる(やはり、当事者とその関係者が安心して納得できるまで導入すべきではない)